

駒澤大学名誉教授 岡部和雄先生略歴及び業績

略歴

昭和十年十月一七日生。

昭和二九年三月 梅檀学園高等学校卒業。

昭和三三年三月 駒澤大学仏教学部禅学科卒業。

昭和三六年三月 東京大学大学院人文科学研究科印度哲学専門課程修士課程修了。

昭和四一年三月 東京大学大学院人文科学研究科印度哲学専門課程博士課程満期退学。

昭和四一年四月 駒澤大学仏教学部専任講師兼仏教学研究室助手。

(以下駒澤大学関係)

昭和四三年四月 仏教学部専任講師。

昭和四四年三月 禅研究所講師(併任)。

昭和四八年四月 仏教学部専任助教授。

昭和五三年四月 公費在外研究員(海外)(五四年三月まで)。

昭和五四年四月 仏教学部教授。

昭和五八年四月 仏教学部仏教学科主任(六一年三月まで)。

昭和六二年四月 仏教学部学部長(二期)在職中、評議員・理事(平成三年三月まで)。

平成七年四月 大学院人文科学研究科仏教学専攻修士課程(演習)担当教授。

平成九年四月 大学院人文科学研究科仏教学専攻博士後期課程(演習)担当教授。

平成一五年四月 禅文化歴史博物館館長(一八年三月まで)。

平成一八年三月 駒澤大学定年退職。
平成一八年六月 駒澤大学名誉教授。
学位 文学修士 (東京大学) 昭和三十六年三月

業績・論文

〔研究テーマ〕
中国仏教の基礎となった仏典翻訳史の研究。さらに中国で成立したと思われる仏典 (偽経) の研究。またそれを産みだした民衆仏教の研究。

〔著 書〕

昭和六一年十月 『仏教の歩んだ道 (二)』 (日本人の仏教 (五) 東京書籍)。

〔論 文〕

昭和三八年一月 『竺法護の訳経について』 (印度学仏教学研究十一卷一号)。
昭和三九年三月 『Some problems of the yü-lan-pen-ching(1)』 (印度学仏教学研究十二卷二号)。
昭和三九年七月 『孟蘭盆経類の訳経史的考察』 (宗教研究三十七輯二号)。
昭和四〇年三月 書評 「吉田久一著『日本近代仏教社会史研究』東京 (吉川弘文館) 昭和三九年」 (鈴木学術財団年報一号)。
昭和四〇年十月 報一号)。

昭和四〇年十月 『竺法護伝』再構成の試み—竺法護訳経研究の基礎のために— (仏教史学十二卷二号 平楽寺書店)。

昭和四一年三月 『浄土孟蘭盆経』の成立とその背景—偽経經典成立に関する一試論— (鈴木学術財団年報二号)。
昭和四二年三月 報告 「哲学遺産をどう継承するか—馮友蘭と胡適の論争を中心に」 (鈴木学術財団年報三号)。

昭和四二年三月 報告 「四十二章經」の成立とその禪宗的改変（鈴木学術財団年報三号）。

昭和四二年三月 「宗密における孝論の展開とその方法」（印度学仏教学研究十五卷二号）。

昭和四二年四月 「四十二章經」の成立と展開—研究史おぼえがき—（駒澤大学仏教学部研究紀要二十五号）。

昭和四二年五月 「宗密における孝論の展開とその方法」（印度学仏教学研究十五卷二号）。

昭和四三年三月 「仏陀波利の伝えるインド禅法—修禅要訣（和訳）—」（駒澤大学仏教学部研究紀要二十六号）。

昭和四四年一二月 翻訳（共訳） 「中国における仏教および仏教研究（一）」（宗教学論集（駒澤大学宗教学研究会）三輯）。

「敦煌本『孟蘭盆經講述』の性格」（印度学仏教学研究十八卷二号）。

昭和四五年三月 「訳経史研究序説—竺法護の訳経について—」（曹洞宗研究員研究生紀要二号 曹洞宗宗務庁）。

昭和四五年一二月 「共著」 「中国における仏教および仏教研究（二）」（宗教学論集（駒澤大学宗教学研究会）四輯）。

昭和四五年一二月 報告 「中国撰述偽経經典の成立史研究—僧祐の偽経観とその思想的背景—」（曹洞宗研究員研究生紀要三号 曹洞宗宗務庁）。

「僧祐の偽経観と抄経観」（駒澤大学仏教学部論集二号）。

昭和四六年一二月 書評 「宇井伯寿『訳経史研究』」（鈴木学術財団年報八号）。

報告 「経録の比較から見た竺法護の訳経部数」（曹洞宗研究員研究生紀要四号 曹洞宗宗務庁）。

昭和四七年三月 「失訳経録」研究の課題」（印度学仏教学研究二十一卷二号）。

昭和四八年八月 「漢訳仏典の成立」（東洋学術研究12—2）。

「訳経史研究序説（二）—現藏経中の竺法護訳の再検討—」（曹洞宗研究員研究生紀要）五号 曹洞宗宗務庁）。

昭和四八年九月 「入藏録の比較研究—『仁寿録』『内典録』『静泰録』について—」（インド思想と仏教—中村元博士還暦記念論集—春秋社）。

昭和四八年九月 「入藏録の比較研究—『仁寿録』『内典録』『静泰録』について—」（インド思想と仏教—中村元博士還暦記念論集—春秋社）。

昭和四八年九月 「入藏録の比較研究—『仁寿録』『内典録』『静泰録』について—」（インド思想と仏教—中村元博士還暦記念論集—春秋社）。

「入藏録の比較研究—『仁寿録』『内典録』『静泰録』について—」（インド思想と仏教—中村元博士還暦記念論集—春秋社）。

昭和四八年一二月 「入藏録の比較研究—『仁寿録』『内典録』『静泰録』について—」（インド思想と仏教—中村元博士還暦記念論集—春秋社）。

「入藏録の比較研究—『仁寿録』『内典録』『静泰録』について—」（インド思想と仏教—中村元博士還暦記念論集—春秋社）。

昭和四九年三月 翻訳 J.W.de Jong 「中国における仏陀の言葉 (Buddha's Word in China)」(駒澤大学仏教学部研究紀要三十二号)。

昭和四九年八月 「訳経史研究序説(三)——現蔵経中の竺法護訳の再検討——」(曹洞宗研究員研究生紀要六号 曹洞宗宗務庁)。

昭和五〇年九月 「経録における賢聖集伝の地位」(鈴木学術財団年報十一号)。

昭和五〇年十月 「訳経史研究の方法と課題」(三蔵集2 大東出版社)。

昭和五一年二月 「訳経史点描」(大乘仏典第六卷「月報」)。

昭和五一年十月 書評 「平井俊榮『中国般若思想史研究』——吉蔵と三論学派——」(駒澤大学仏教学部論集七号)。

昭和五二年九月 「経録と目録学」(大正新脩大蔵経第五十五卷「月報」)。

昭和五二年十月 書評 「牧田諦亮著『偽経研究』」(駒澤大学仏教学部論集八号)。

昭和五四年 「四恩説の成立」(仏教思想四 恩 平楽寺書店)。

昭和五五年 「禅僧の注抄と疑偽經典」(講座敦煌第八卷 大東出版社)。

昭和五五年三月 「The Chinese Catalogues of Buddhist Scriptures」(駒澤大学仏教学部研究紀要三十八号)。

昭和五五年七月 「レニングラードの東洋学研究所を訪ねて」(駒澤大学大学院仏教学研究会年報十四号)。

昭和五五年十一月 書評 「奈良康明著『仏教史1—インド・東南アジア—』」(駒澤大学仏教学部論集十一号)。

昭和五六年六月 「偽作『法句経』研究の現段階」(仏教の歴史的展開に見る諸形態——古田紹欽博士古稀記念論集——創文社)。

昭和五六年九月 「Some Preliminary Remarks on the History of Chinese Translation of Buddhist Scriptures」(大乘仏教から密教へ——勝又俊教博士古稀記念論集——)。

昭和五七年十月 「法華経四品と十句観音経」(大法輪第49巻第10号)。

昭和五八年十月 書評紹介 「中国における仏教・哲学・宗教の新刊書」(駒澤大学仏教学部論集十四号)。

昭和五八年 総説——中国の入竺求法旅行記——(中国仏教集 玉川大学出版部)。

昭和五八年一月

昭和五九年

昭和五九年八月

昭和六〇年四月

昭和六〇年六月

昭和六〇年八月

昭和六一年五月

昭和六二年三月

昭和六二年一月

昭和六三年三月

平成元年十月

平成二年

平成二年

平成三年

平成四年十月

平成六年

平成八年

平成九年

平成一一年

平成一四年四月

〔訳経と写経〕（東洋学術研究22—2）。

〔敦煌藏経目錄〕（講座敦煌第七卷、大東出版社）。

〔中国仏教にとつての西域—訳経史を視点として—〕（歴史公論第一〇五号）。

〔仏教における平和の倫理〕（現代の倫理 明石書店）。

〔無常経〕と〔臨終方訣〕（仏教思想の諸問題—平川彰博士古稀記念論集— 春秋社）。

〔中国社会と大乘仏教〕（講座・大乘仏教10 大乘仏教とその周辺 春秋社）。

〔訳経史と西域仏教〕(1)(2)(3)(4)(5)（仏教経典選 月報一—五 筑摩書房）（一—一月まで）。

〔十句観音経〕の由来—とくに『高王観世音経』とのつながり—（宗教学論集（駒澤大学宗教学研究会） 十三輯）。

〔業と平和思想〕（東洋学術研究（東洋哲学研究所） 二十六卷二号）。

〔三階教の仏陀観〕（日本仏教学会年報五十三号）。

〔中国仏教の研究状況と問題点〕（中日禅学研究研究会）報告（駒澤大学仏教学部論集—二十号）。

〔古藏と偽経〕（三論教学の研究 春秋社）。

〔修証義〕成立の時代を考える（ブツダから道元へ 東京書籍）。

書評 〔定本中国仏教史〕（月刊中国図書 内山書店）。

書評 〔伊藤隆壽「中国仏教の批判的研究」〕（駒澤大学仏教学部論集—二十三号）。

〔中国仏教と禅〕（禅学研究入門 大東出版社）。

報告 〔仏教と中国社会—日蓮救母説話の展開を例として—〕（東方学—七号）。

〔「父母恩重経」 中的儒教・仏教・道教〕（中国語）（世界宗教研究第六十四期所収、北京）。

〔民衆仏教の位相—偽経の命運をたどつて—〕（東アジア仏教Ⅲ所収、春秋社）。

〔七寺本・父母恩重経解題〕（七寺古逸経典研究叢書第五卷所収、大東出版社）。

〔現代世界と宗教（二） 仏教の現在—歴史的にみる—〕（経済 新日本出版社）。

平成一四年八月
平成一八年三月

「英訳『大乘起信論』をめぐって」(鈴木大拙全集三十五卷「月報」 岩波書店)。
「訳経史と禅宗―「月をさす指の喩え」に寄せて―」(東洋の思想と宗教二十三号 早稲田大学東洋哲学会)。

〔校訂〕

昭和五二年四月

『増補校訂 日本大藏経』第八十六卷(鈴木学術財団)。

〔分担執筆〕

昭和四〇年一二月

『世界思想教養辞典(日本・東洋編)』(東京堂出版)。

昭和五二年九月

『新・仏典解題事典』(春秋社)。

昭和五六年九月

『中国仏教史辞典』(東京堂出版)。

昭和六二年九月

『仏教・インド思想辞典』(春秋社)。

昭和六八年五月

『お経 禅宗』(講談社)。

平成元年十月

『仏教名言辞典』(東京書籍)。

平成一三年

『仏典入門事典』(永田文昌堂)。